

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	特定非営利活動法人 ソーシャルサポートセンターひょうご 放課後等デイサービスわかばプラス			
○保護者評価実施期間	2025年 10月 15日		～	2025年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名	(回答者数)	24名
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日		～	2025年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 5日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの特性や成長に合わせた支援 子ども一人ひとりの発達段階や特性・興味・関心を把握して 個々に応じた支援を行っている	日々の様子や活動時の反応を職員間で共有し子どもの「できた」 「やってみたい」という気持ちを大切にしながら、成功体験に繋 がる活動や関わりを行っている	子どもの成長や変化を継続的に確認し、本人の意向も取り入 れながら将来を見据えた支援内容の充実を図っていく
2	保護者との連携／家族支援 保護者との日々のコミュニケーションを大切にしています。 家庭でのご様子や困りごとについて、相談しやすい関係作りに 努めています	送迎時や面談等を通して情報共有を行うほか、保護者の交流会 や進路に関する学びの会や親子で参加型のイベントを開催する ことで、保護者同士が交流・情報交換出来る場づくりにも取り 組んで居ます。	保護者のニーズや子どもの成長段階に応じて、進路・就労・ 生活等をテーマにした情報の提供や交流の機会を増やし、家 族全体を支える取り組みに繋げていく
3	地域・関係機関との連携と社会経験 地域資源や関係機関との繋がりを活用し、事業所内だけでは得 られない多様な経験が出来る機会を提供している	外出活動や地域交流、季節の行事、就労を意識した体験活動な どを取り入れ、公共の場でのルールマナー、他者との関わりな どを実際の経験を通して学べるように支援しています	学校・地域・福祉サービス事業所等との連携をさらに深め、 子ども達が地域の中でさまざまな人や社会資源と関わる機会 を広げていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	関係機関との情報共有・連携 学校・関係機関との連携を行っているが、子どもの状況に応じ た継続的な情報共有について、さらに充実させる必要がある。	日々の支援や送迎等の業務がある中で、学校や関係機関との情 報共有する時間や機会を十分に確保する事が難しい場合がある	保護者の同意のもと、学校や関係機関との情報共有の機会を 計画的に設け、必要に応じて担当者会議等も活用しながら、 切れ目のない支援に繋げていく
2	職員間での支援の統一 子ども一人ひとりに応じた支援を行う中で、職員によって関わり 方や支援方法に差が出ないようさらなる共通理解が必要であ る	子どもの特性やその日の状態によって対応が異なるため、支援 方法や配慮事項についてより細かな情報共有が必要となってい る	日々の打ち合わせや事例検討、研修等を活用し、支援の目的 や具体的な関わり方を職員間で共有することで、事業所全体 で一貫した支援が行える体制作りを進める
3	地域交流・社会参加の機会のさらなる充実 外出活動や地域での活動を実施しているが、地域住民や地域団 体等と継続的に実施するための調整が必要となる	安全面や人員の配置、活動時間等への配慮が必要であり、地域 との交流を継続的に実施するための調整が必要となる	地域行事への参加や地域資源を活用した活動、他事業所等と の交流を計画的に取り入れ、子ども達が地域の中でさまざま な人と関わり、社会経験を積める機会を増やしていく